



「じぶん・ラボ」始動！

自己調整する学びを「学校から家庭へ」

本校では、例年の学校評価(保護者アンケート)で課題となっている「家庭学習」の改善に向け、新たな取組「じぶん・ラボ」を開始しました。これまでの「与えられた宿題をこなす受動的な学習」から、自ら学びをコントロールする「自己調整学習」への転換を目指し、まずは6年生がモデルとして先行実践しています。子どもたちは毎朝15分の朝活動を使い、1週間の学習計画を作成。デジタルや紙の教材を自ら選択して学習を実践し、週末には振り返りを行って次週の計画に生かすという、自律的な「PDCAサイクル」に挑戦中です。今後は、各学年の発達段階に応じて全校へ広げていく予定です。さらに、この学校での朝活動の取組を、家庭での主体的な学習へと結び付けたいと考えています。保護者の皆様におかれましては、児童が自宅で集中して取り組めるよう、家庭での学習環境の整備や温かい見守りへのご協力をよろしくお願いいたします。

水俣に学ぶ肥後っ子教室

6/11(木) 5年生が水俣市を訪問し「水俣に学ぶ肥後っ子教室」を実施しました。

水俣病資料館では「伝え手」の方の講話から、水俣病の正しい理解と人権尊重の重要性を学びました。

また、県立環境センターでは、環境モデル都市である水俣市の取組を学ぶとともに、水環境の実験を通して環境保全の意識を高める貴重な機会となりました。(→写真は水俣病資料館での見学の様子)



未来を創る！

The Future We Want

高森中央小通信 2026/6/25